

薬剤部 研究業績(2024年)

原著論文

1. 土田裕貴、吉岡睦展、高子優子、有延早弥香、下村美穂、森田聡子、新 康憲、西山祐美、正置耕一
医薬品流通障害時における後発医薬品選定の対策法とその評価
日本病院薬剤師会雑誌. 60(2). 135-139. 2024
新規対策導入前に比べ導入後で出荷調整が有意に増加したが、処方制限の割合は有意に減少し、本対策が有用であることが示唆された
2. 吉岡睦展、石津智司、遠藤和夫、中嶋一彦、網野かよ子、芳川篤志、川端俊介、臼井健郎、大井利彦、諸岡孝俊
ワクチン接種が及ぼす SARS-CoV-2 感染症に対するソトロビマブの効果
宝塚市医師会学術誌. 16. 40-45. 2024
ソトロビマブが新型コロナワクチン接種の有無によって有効性・安全性に差異がないか後方視的に調査し、差がないことが示された
3. 永田和美、吉岡睦展、今戸健人、正置耕一、田中紀光、森亜子、清水義文
多発性骨髄腫に対するレナリドミドの初期投与量が治療継続期間および関連性皮膚障害に及ぼす影響
宝塚市医師会学術誌. 16. 32-35. 2024
レナリドミドの治療継続期間は適正群と過少群で差を認めず、減量では皮膚障害を予防できず継続延長もできないことが示唆された
4. 根上朋子、吉岡睦展、杉生雅和、高子優子、今戸健人、田中紀光、森 亜子、清水 義文
スルファメトキサゾール・トリメトプリム合剤における先発医薬品と後発医薬品の副作用発現頻度および経済効果の比較
宝塚市医師会学術誌. 16. 36-39. 2024
先発群 393 例と後発群 651 例の副作用発現頻度を比較。後発群で皮疹など有意に高く、代替薬使用により費用も過剰にかかった

5. 土田裕貴、吉岡睦展、石津智司、小澤 拓、饒平名長武、若松雄太、有延早弥香、下村美穂、高石明子、一ノ瀬里紗、山本哲久、福田貴大、鈴木 透
薬剤情報共有を重視した取り組み—SGLT2 阻害薬により発症したフルニエ壊疽の 2 症例—
宝塚市医師会学術誌. 16. 46-51. 2024
フルニエ壊疽は外科的処置・厳格な血糖管理・適切な抗菌薬が重要。退院時薬剤情報提供書により中止が継続され再燃はなかった

症例報告

1. 小澤 拓、吉岡睦展、石津智司、饒平名長武、小林敦子
GNR(大腸菌、肺炎桿菌)に対する CTRX の感受性調査
日本化学療法学会雑誌 proceeding. 72(1). 267-268. 2024
汎用薬の CTRX について、AST 薬剤師の介入前後で CTRX の感受性低下は大腸菌では認めなかったが、肺炎桿菌で認めた

学会発表

1. 波多野友美、吉岡睦展、小林由美子、杉生雅和、高子優子、正置耕一、今戸健人、森 亜子、清水義文
新型コロナウイルスワクチン接種後に血小板減少を来した特発性血小板減少性紫斑病の 2 症例
第 45 回日本病院薬剤師会近畿学術大会. ポスター. 2024/1/27-28. 和歌山(和歌山城ホール)
ITP 患者へ mRNA ワクチンを接種後に血小板減少を来した症例について検討。接種後は病勢増悪を予測し早期受診を推奨する
2. 高橋直浩、新 康憲、森田聡子、西山祐美、正置耕一、吉岡睦展
調剤過誤防止対策:携帯情報端末(PDA)の有用性の検討
日本医療マネジメント学会第 16 回兵庫支部学術集会. 口頭. 2024/2/17. 西宮(ホテルヒューイット甲子園)
PDA 導入により薬品・規格間違いを有意に減らし、残業時間は導入前後で差がなく、調剤過誤防止に有用であることが示された

3. 長尾彰太、下村美穂、森本典子、西山祐美、正置耕一、松本 恵、尾田尚子、井上弥生、野間秀樹、吉岡睦展
携帯情報端末(PDA)を流用した手術専用薬剤補充業務の検証
日本医療マネジメント学会第16回兵庫支部学術集会. 口頭. 2024/2/17. 西宮(ホテルヒューイット甲子園)
PDA流用により人為的な薬剤の補充過誤が解消した。PDA流用法は従来法に比べ1日約20分多くかかったが監査者1名を削減できた

4. 橋谷 進、川野知子、安藤恵利、高寺貴佳、湯川あい、春日佳織、高子優子、正置耕一、吉岡睦展
薬剤師の歯科に関する認識調査
第21回日本口腔ケア学会総会・学会大会. 口頭. 2024/4/27-28. 東京(一橋講堂)
病院・薬局薬剤師を対象に歯科に関する調査を実施。歯科口腔外科標榜病院勤務の薬剤師は歯科に関する知識が高いことが示された

5. S. Hashitani, T. Kawano, E. Ando, K. Takatera, A. Yukawa, K. Kasuga, Y. Takasu, K. Masaki, M. Yoshioka
Survey on Dental-Related Questionnaire of Pharmacists
第4回国際口腔ケア学会総会・学会大会. ポスター. 2024/4/27-28. 東京(一橋講堂)
病院・薬局薬剤師を対象に歯科に関する調査を実施。歯科口腔外科標榜病院勤務の薬剤師は歯科に関する知識が高いことが示された

6. 杉生雅和、吉岡睦展、上柳祐華、若松雄太、高子優子、石津智司、根上朋子、糸原 仁、藤原勇輝、森山徳秀
退院時薬剤情報提供書を活用した二次性骨折予防継続管理
第8回日本老年薬学会学術大会. 口頭. 2024/5/18-19. 東京(都市センターホテル)
薬剤師が作成する退院時薬剤情報提供書は骨粗鬆症治療継続率を上げる重要なツールとなり二次性骨折予防に貢献できる

7. 若松雄太、吉岡睦展、杉生雅和、有延早弥香、友野雅人、西崎広典、福田貴大、福井浩二、鈴木 透
SGLT2 阻害剤の服用により膀胱内真菌塊を発症した一症例
第 8 回日本老年薬学会学術大会. 口頭. 2024/5/18-19. 東京 (都市センターホテル)
糖尿病患者に SGLT2 阻害剤を 1 年以上投与中、尿の高糖濃度が惹起され膀胱内真菌塊が定着。手術・SGLT2 阻害剤中止継続で経過

8. 高子優子、細見真世、伊藤伸哉、岡山幸子、奥本龍夫、澁谷奈穂、近藤万友美、若松雄太、正置耕一、吉岡睦展
緩和ケア病棟を生存退院する患者への退院時薬剤情報提供書
第 17 回日本緩和医療薬学会年会. 口頭. 2024/5/24-26. 東京 (文京シビックセンター)
自宅で最期を迎える患者が増え、CSCI の需要が急増している。退院時薬剤情報提供書の内訳も CSCI が最も多く、緩和ケア病棟でも必須

9. 高子優子、澁谷奈穂、細見真世、近藤万友美、若松雄太、正置耕一、柳井亜希子、奥本龍夫、吉岡睦展
上肢リンパ浮腫による疼痛にメサドンで対応した一症例
第 29 回日本緩和医療学会学術大会. ポスター. 2024/6/14-15. 神戸 (神戸国際会議場)
難渋するリンパ浮腫の疼痛に対してオピオイド等の有用性は確立されていないが、睡眠が確保できない苦痛にメサドンは一助となり得る

10. 石津智司、小澤 拓、饒平名長武、杉生雅和、若松雄太、小林由美子、近藤万友美、森田聡子、西山祐美、正置耕一、吉岡睦展
AST 薬剤師主導による黄色ブドウ球菌菌血症治療
第 34 回日本医療薬学会年会. 口演. 2024/11/2-4. 千葉 (幕張メッセ国際会議場)
SAB 症例を感染症専門医主導群と AST 薬剤師主導群で比較。SAB バンドル各項目達成率、遵守率、30 日死亡率で有意差なし。タスクシフト可能

11. 小澤 拓、吉岡睦展、石津智司、饒平名長武

TEIC の遊離血中トラフ濃度と血小板減少症の関連性

第 34 回日本医療薬学会年会. 口演. 2024/11/2-4. 千葉(幕張メッセ国際会議場)

TEIC の Plt 減少について遊離血中トラフ(Ft)との関連性を調査、Ft 上昇が Plt 減少のリスク上昇と関連することが示唆された

12. 高橋直浩、新 康憲、森田聡子、西山祐美、正置耕一、吉岡睦展

効率的な返薬利用を目的とした錠剤自動仕分返納装置の導入とその効果

第 34 回日本医療薬学会年会. ポスター. 2024/11/2-4. 千葉(幕張メッセ国際会議場)

返薬装置導入前後で分別錠数、薬価金額、薬剤師業務時間を比較。錠剤の視認性に関わらず薬剤師業務時間を短縮しコスト削減が示された

13. 森田聡子、新 康憲、高橋直浩、長尾彰太、近藤万友美、西山祐美、高子優子、正置耕一、吉岡睦展

錠剤自動仕分け返納装置 (Genie®) の識別率の評価と今後の課題

第 34 回日本医療薬学会年会. ポスター. 2024/11/2-4. 千葉(幕張メッセ国際会議場)

Genie 導入は 1 名の薬剤師の監査にて安全に仕分けできることが確認でき、バーコード管理で利便性が高い。マスタ登録の簡素化が課題

14. 西山祐美、吉岡睦展、高橋直浩、中川史絵、長尾彰太、新 康憲、森田聡子、美山真崇

自治体病院におけるアンデキサネットアルファ運用手順の確立とその検証

第 34 回日本医療薬学会年会. ポスター. 2024/11/2-4. 千葉(幕張メッセ国際会議場)

脳神経外科、看護部、薬剤部で運用手順を作成し臨床に実装。セットオーダで医師入力を簡略化、納品時間以外は調製・施行の時間短縮が図れた

15. 根上朋子、田村知子、杉生雅和、高子優子、正置耕一、吉岡睦展
心不全患者に対するテレフォンフォローアップを用いた薬薬連携
第 34 回日本医療薬学会年会. 口演. 2024/11/2-4. 千葉(幕張メッセ国際会議場)
新設の調剤後薬剤管理指導料に先んじて病院薬剤師が薬局薬剤師に TF を依頼し薬薬連携で心不全患者の服薬遵守改善につながった症例報告
16. 小澤 拓、吉岡睦展、石津智司、饒平名長武、森山徳秀
化膿性脊椎炎治療における Streptococcus 属の治療期間の追加検討
第 72 回日本化学療法学会西日本支部総会. 口演. 2024/11/14-16. 神戸(神戸国際会議場)
Streptococcus 属はその他原因菌との抗菌薬治療比較で注射期間は差がなく、経口期間で有意に長かった。IE 罹患、CLDM, LVFX の耐性が一因
17. 若松雄太、吉岡睦展、杉生雅和、石津智司、小澤 拓、饒平名長武、福井浩二
抗真菌薬未使用で膀胱内真菌塊を治療した一症例
第 72 回日本化学療法学会西日本支部総会. 口演. 2024/11/14-16. 神戸(神戸国際会議場)
SGLT2 阻害剤の長期服用で膀胱内真菌塊を発症も、医師・薬剤師協働による術前の被疑薬中止と病態把握が周術期薬剤適正使用につながった
18. 小林由美子、波多野友美、澁谷奈穂、近藤万友美、高子優子、吉岡睦展、田中紀光、今戸健人、森亜子、清水義文
宝塚市立病院における医原性免疫不全関連リンパ増殖性疾患(OIIA-LPD)を生じた症例の検討
第 121 回近畿血液学地方会. 口演. 2024/11/16. 京都(京都テルサ)
OIIA-LPD の発生と MTX 投与状況を調査。LPD 消退群・再発群・非消退群に差がないものの IL-2R はリンパ腫の病勢を示し早期診断につながる

その他(新聞・TVなど)

1. 吉岡睦展
WEB 講演「地域連携による医薬品適正使用の進め方」
東京都墨田区薬剤師会夜間研修会. 2024/2/6
2. 吉岡睦展
WEB 講演「バイオシミラーの理解と導入事例」
Phizer Oncology Biosimilar Internet Symposium in 関西. 2024/2/9
3. 上柳祐華
市立病院だより「薬による骨粗しょう症治療に取り組んでいます」
広報たからづか No.1321 P.25. 2024/3/1
4. 吉岡睦展
WEB 講演「それでいいの?地域連携によるポリファーマシー対策」
Drs' Prime. 2024/3/5
5. 根上朋子
ハイブリッド講演「心不全 薬薬連携の現状と課題」
第 39 回宝塚市薬剤師地域連携研究会(宝つーかーの会). 2024/3/16

6. 吉岡睦展

WEB 講演 「バイオシミラー普及への取り組み」

富士製薬工業研修会. 2024/4/18

7. 吉岡睦展

WEB 講演 「製薬企業の医薬品情報活動への提言」

PBA 医薬マーケティング・アカデミー(第 21 期)5 月講座. 2024/5/16

8. 吉岡睦展

WEB 講演 「COVID-19 パンデミック後の現状 当院薬剤部の取り組み」

塩野義製薬研修会. 2024/5/23

9. 饒平名長武

講演 「COVID-19 薬物治療について」

2024 年度第 1 回医薬品安全管理研修会. 2024/5/29

10. 高子優子

WEB 司会 テーマ 「肺癌」

北六甲オンコロジー勉強会. 2024/7/3

11. 今西可奈子

WEB 講演 「肺癌のガイドラインについて」

北六甲オンコロジー勉強会. 2024/7/3

12. 澁谷奈穂

WEB 講演 「肺癌の内服症例について」
北六甲オンコロジー勉強会. 2024/7/3

13. 上柳祐華

WEB 講演 「二次性骨折予防と骨粗鬆症リエゾンサービス」
第 20 回ヤングフーカーの会. 2024/7/27

14. 吉岡睦展

講演 「それでいいの?地域連携によるポリファーマシー対策」
Pharmacy Conference in Sagamihara. 2024/9/20

15. 澁谷奈穂

ハイブリッド講演 「がん悪液質に対する取り組み:外来がん患者に対する食欲不振への対応」
第 40 回宝塚市薬剤師地域連携研究会(宝フーカーの会). 2024/9/28

16. 吉岡睦展

講演 「診療報酬改訂の意図を読む」
第 3 回 Hanshin Pharmacy Director Seminar. 2024/10/22

17. 吉岡睦展

抗菌薬の基礎/尿路感染症に対する実践
武庫川女子大学大学院先端臨床薬学特別実習. 2024/11/9

18. 吉岡睦展

自治体病院薬剤師としての活動と役割/高齢者の処方カスケード事例
武庫川女子大学大学院先端臨床薬学特別実習. 2024/11/30

19. 吉岡睦展

地域医療連携を意識した自治体病院薬剤師の活動と役割
京都薬科大学講義(地域医療学 A). 2024/12/23